

事業所名

オープンカフェ

支援プログラム（東大阪市提出用）

作成日

令和7年

3月

13日

法人（事業所）理念		一般社団法人ソーシャルインクルージョンが運営するオープンカフェは、子どもたちの「生きる力」を育むするために、個別支援、グループ支援、集団支援をしています。SST、自立支援、運動療育を通じて、子どもの主体性を向上していくことを理念としています。						
支援方針		広いスペースと個室に区切り、スタッフと子どもが適切な距離を保ちながら、個別支援、グループ支援、集団支援を行う。「生きる力、主体性、自立」を軸にして、5領域による支援を行っていく。スタッフ自身も研修、資格試験、勉強会を通じて、自己研鑽に取り組む。						
営業時間		10時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支援内容						
本人支援	健康・生活	日々のデイでの準備と片付け、挨拶、食事、おでかけなどの活動、SSTを通して、生活習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得を目指す。 例)荷物整理、忘れ物確認、あいさつ、靴をなおす、早寝早起きの声掛け、食事食育を通じた健康状態の確認、携帯電話のルール掲示、等々						
	運動・感覚	鬼ごっこ、サーキットトレーニング、ダンベル運動、ストレッチ、ドッジボール、ボルタリング、大縄跳び、公園遊び、等の運動遊び、シール貼り、スライム遊び、紐遠し等を実施し、姿勢や運動、動作の向上・感覚統合の活用を目指す。						
	認知・行動	ビンゴ、カルタ、すごろく等様々なテーブルゲーム、社会のルール・認知行動に関するSST、音楽(ピアノ、歌、打楽器)、等々を実施し、子どもの認知の発達や行動の習得・形成概念の獲得を目指す。						
	言語コミュニケーション	日常的な会話、言語・非言語コミュニケーション、伝言ゲーム、連想ゲーム、映像ゲーム、会の進行、SST、ロールプレイ、プリント課題(ひらがな、カタカナ、漢字、語彙力、さまざまな言語能力向上のための課題)の取組等を実施し、言語の形成と活用・コミュニケーション能力の向上を目指す。						
	人間関係社会性	デイでの係の活動、SST、ロールプレイ、友だちとのやりとり、ゲームを通しての集団活動、集団遊びの取組ややりとり、ルール遊び等々、を通して、他者との関りの形成・自己の理解と行動の調整・仲間づくりと集団への参加を目指す。						
家族支援		児童の発達、支援に関する相談、助言 家庭生活、集団生活に関する相談、助言 年1回以上の個別相談、サービス担当者会議を行う。		移行支援		学校等と児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施し、切れ目ない支援を行う。不登校支援なども学校と連携して行う。高校受験のための支援も行う。		
地域支援・地域連携		地域の発達支援体制充実や課題の改善に努める。東大阪国際交流フェスティバルに出店して、出店のスタッフとして地域の人々との連携を図る。		職員の質の向上		研修を実施（虐待防止、感染症、災害等）し、職員の専門的知識やスキル、支援技術向上を図る。全員が、資格試験、検定試験を目指して、自己研鑽をすることを義務としている。		
主な行事等		季節の行事（節分、七夕、夏まつり、水遊び、ハロウィン、クリスマス、初詣、おでかけ、卒業イベント等）						

【公表方法】

- インターネットに掲載（URL：https://kids-opencafe.club/）
 その他（具体的な方法：毎月のおたよりで支援プログラムを公表しています。）

《注意》

「事業所における基本情報」及び「支援内容」が網羅されていれば、独自様式を使用しても差し支えありませんが、本市に提出される際には【公表方法】をお示しください。